

日本哲学会・中国社会科学院哲学研究所 主催

### 第3回日中哲学フォーラム

日中の哲学者は現代と世界をどう捉えるか

共催

慶應義塾大学人文グローバル COE 「論理と感性の先端的教育研究拠点」

慶應義塾大学「論理学とフォーマルオントロジー」  
オープンリサーチセンター (ORC)

三田哲学会

日時：2011年11月19日（土）・20日（日）

会場：慶應義塾大学日吉キャンパス

来往舎 2階大・中・小会議室 （19日）

第6校舎 614・J611・J612 教室 （20日）

11月19日(土)

受付 8:30~9:00 来往舎2階ロビー

午前の部： 於、来往舎 大会議室

開会式 9:00~9:30

司会者 卞 崇道 中国社会科学院哲学研究所研究員

種村 完司 鹿児島県立短期大学学長

通訳 郭 連友 北京日本学研究中心教授

王 青 中国社会科学院哲学研究所副研究員

李 彩華 名古屋経済大学准教授

開催校慶應義塾大学代表 歓迎挨拶

関根謙 慶應義塾大学文学部長

挨拶

中国側 謝 地坤 中国社会科学院哲学研究所所長

日本側 高山 守 前日本哲学会会長 東京大学教授

記念撮影

基調講演 9:30~11:00

中国側 謝 地坤 中国社会科学院哲学研究所所長

グローバルビューから見た民族文化 — 「国学ブーム」に対する哲学的考察

世界視域下の民族文化 — 对“国学热”的哲学思考

コメント： 加藤 尚武

日本側 加藤 尚武 鳥取環境大学名誉学長・京都大学名誉教授

豊かさのゆくえ

财富的去向

コメント： 謝 地坤

コーヒーブレイク 11:00~11:15

総合討論 11:15~12:00

午後の部： 於、来往舎 大・中・小会議室

分科会報告 14:00~17:30

「第一分科会」 (於、大会議室)

(発表時間は 一人 25 分、コメント、質問 (通訳を入れて) 15 分)

グローバル化における文化・思想の普遍性と特殊性 — 西洋と東洋の間で

## 在全球化中的文化・思想的普遍性和特殊性 —西洋与东洋之间

司会者 中国 卞 崇道 中国社会科学院哲学研究所研究員

日本 山内 廣隆 広島大学教授

通訳 王 青 中国社会科学院哲学研究所副研究員

中国側 1 卞 崇道 中国社会科学院哲学研究所研究員

現代における「荀子」の礼楽の意義

试论荀子礼乐思想的当代意义

コメント： 谷 徹

日本側 1 谷 徹 立命館大学教授

間文化現象学 —日中欧の文化的混血のなかで

跨文化現象学 —于日中欧之文化混血中

コメント： 卞 崇道

コーヒーブレイク 15分

中国側 2 王 青 中国社会科学院哲学研究所副研究員

「中国哲学」と「日本哲学」の成立

“中国哲学”与“日本哲学”的成立

コメント： 村松 正隆

日本側 2 村松 正隆 北海道大学准教授

幸福・存在感情・思想と人文知の普遍性

幸福、存在感情、思想和人文知的普遍性

コメント： 王 青

日本側 3 納富 信留 慶應義塾大学教授

近代日本の「理想国家」論 —プラトン『ポリテイア』受容の意義—

近代日本の“理想国家”論 —柏拉图《Politeia》受容的意义—

コメント： 卞 崇道

## 「第二分科会」 (於、来往舎 中会議室)

(発表時間は 一人 25分、コメント、質問(通訳を入れて) 15分)

現代における生と死のダイナミズム —人間・生物・宇宙

现代生与死的物力论 —人类・生物・宇宙

司会者 中国 孫 晶 中国社会科学院哲学研究所研究員

日本 高田 純 札幌大学教授

通訳 郭 連友 北京日本学研究中心教授

中国側 1 孫 晶 中国社会科学院哲学研究所研究員

ガウダバーダの「不生論」

乔荼波陀的“不生说”

コメント： 和泉 ちえ

日本側 1 和泉 ちえ 千葉大学教授

タナトロジーとコスモロジー

死亡学和宇宙学

コメント： 孫 晶

コーヒーブレイク 20分

中国側 2 郭 連友 北京日本学研究センター教授

吉田松陰の「人間観」と孟子受容「性善説」について

吉田松陰的“人性观”与孟子的“性善论”

コメント：高田 純

休憩 20分

総合討論 40分

### 「若手分科会」・ 年轻学者分科会 (於、来往舎 小会議室)

(発表時間は 一人 25分、コメント、質問 (通訳を入れて) 15分)

司会者 中国 王 国壇 遼寧大学哲学与公共管理学院教授

日本 杉田 孝夫 お茶の水女子大学教授

通訳 李 彩華 名古屋経済大学准教授

中国側 1 賀 雷 中国社会科学院哲学研究所助理研究員

「すべての人は必ず死ぬ」は科学的な命題か？

“所有人都是要死的” 是一个科学命题吗？

コメント： 譽田 大介

日本側 1 譽田 大介 慶應義塾大学

黙禱と握手、皮膚と実存 —E・レヴィナスにおける「ある il y a」から—

黙哀和握手、皮肤和存在 —来自于勒维纳斯的“有” (il y a) —

コメント： 賀 雷

コーヒーブレイク 20分

日本側 2 杉本 耕一 関西大学非常勤講師

仏教思想による現代的課題の克服という構想をめぐって

—京都学派の哲学者・西谷啓治を中心に—

关于如何运用佛教思想解决现代课题的构想

—以京都学派哲学家西谷启治的思想为中心—

コメント： 王 国壇

日本側 3 朝倉 友海 東京大学助教

「東アジア哲学」の理念 —西田哲学と牟宗三の比較研究について

“东亚哲学”的理念 —西田哲学与牟宗三的比较研究

コメント： 王 国壇

総合討論 30分

懇親会 18:30～

場所：「遊ZENたち吉」（日吉）

Tel: 045-563-6198

会費：一般会員 8,000円

若手会員 5,000円

2011年11月20日（日）

午前の部： 於、日吉キャンパス 第6校舎 614・J611・J612 教室

分科会 9:00～12:30

「第一分科会」（於、第6校舎 614 教室）

（発表時間は 一人25分、コメント、質問（通訳を入れて）15分）

グローバル化における文化・思想の普遍性と特殊性 —西洋と東洋の間で

在全球化中的文化·思想的普遍性和特殊性 —西洋与东洋之间

司会者 中国 王 青 中国社会科学院哲学研究所副研究員

日本 榊原 哲也 東京大学教授

通訳 王 青 中国社会科学院哲学研究所副研究員

中国側 3 単 继剛 中国社会科学院哲学研究所研究員

翻訳における忠実さと裏切り

翻译者，背叛者？

コメント： 岡本 由起子

日本側 4 岡本 由起子 元東京家政学院大学助教授

グローバル化と文化的独我論

全球化与文化唯我论

コメント： 单 继刚

コーヒーブレイク 20分

中国側 4 王 国壇 遼寧大学哲学与公共管理学院教授

対話の弁証法 —文化の個性と地平の融合

对话辩证法 —文化个性与视域融和

コメント： 藤田 正勝

日本側 5 藤田 正勝 京都大学教授

グローバル化の時代における人文知、あるいは哲学の意義をめぐって

关于全球化时代人文科学及其哲学意义的思考

コメント： 王 国壇

総合討論 30分

## 「第二分科会」 (於、第6校舎 J611 教室)

(発表時間は 一人 25分、コメント、質問(通訳を入れて) 15分)

現代における生と死のダイナミズム —人間・生物・宇宙

现代生与死的物力论 —人类・生物・宇宙

司会者 中国 孫 晶 中国社会科学院哲学研究所研究員

日本 加藤 泰史 南山大学教授

通訳 郭 連友 北京日本学研究センター教授

中国側 3 王 雅 遼寧大学哲学与公共管理学院教授

誠の基本は自然、信の基本は人間

—儒家の信と誠の弁証および当代誠信観の確立に対する意義

诚是自然底实，信是人做底实

—儒家信诚辨正及对确立当代诚信观的意义

コメント： 梶谷 真司

日本側 2 梶谷 真司 東京大学准教授

危機意識と伝統への回帰 —日本における医療批判と伝統医学の形成—

危机意识与传统的回归 —当今日本医疗批判与传统医学之形成—

コメント： 王 雅

コーヒーブレイク 20分

日本側 3 入江 重吉 松山大学教授  
進化の視点から見た生と死のダイナミズム  
从进化的角度看生与死的物力论

コメント： 孫 晶

休憩 20分

総合討論 40分

### 「若手分科会」・年轻学者分科会 (於、第6校舎 J612 教室)

(発表時間は 一人 25分、コメント、質問(通訳を入れて) 15分)

司会者 中国 賀 雷 中国社会科学院哲学研究所助理研究員

日本 神崎 繁 専修大学教授

通訳 李 彩華 名古屋経済大学准教授

中国側 2 姜 永剛 遼寧大学广播影视学院副教授

審美的政治の文脈で語る未来の世界像  
审美政治语境下的未来世界图像

コメント： 山田 圭一

日本側 4 山田 圭一 山形大学准教授

日本の初等中等教育における哲学教育の可能性と現代的意義  
日本的初等中等教育中哲学教育的可能性和现代意义

コメント： 姜 永剛

コーヒーブレイク 20分

日本側 5 増淵 隆史 北海道大学助教

非正規雇用問題と公正な雇用システム  
非正式雇用问题和公正的雇用体制

コメント： 賀 雷

休憩 20分

総合討論 40分

午後の部： 於、第6校舎 614 教室

14:00～17:00 **全体会議**

司会者 卞 崇道 中国社会科学院哲学研究所研究員  
座小田 豊 東北大学教授  
通訳 郭 連友 北京日本学研究中心教授  
王 青 中国社会科学院哲学研究所副研究員  
李 彩華 名古屋経済大学准教授

**各分科会司会者総括**（通訳を入れて 30 分間）

第一分科会 王 青 山内 廣隆  
第二分科会 孫 晶 高田 純  
若手分科会 王 国壇 杉田 孝夫

コーヒープレイク 20 分

**総合討論** 通訳を入れて 1 時間

休憩 10 分

**閉会式** 17:00～17:30

中国側代表 謝 地坤 中国社会科学院哲学研究所所長  
日本側代表 飯田 隆 日本哲学会会長 日本大学教授